臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部附属病院整形外科では、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解頂き、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究課題名：トライアスロンスイム競技における UAV(無人航空機)による要救助者モニタリングシステム開発

1．研究の概要

ドローンを用いたトライアスロン　スイム競技中に発生した要救助者の早期発見・救助

2．目的

ドローンでスイム競技エリアを監視し、画像を本部に伝送して監視することで、溺れている方や異常な行動をしている方を早期に発見し、早期に救助をします。なお、この研究は、スポーツ競技中の安全に関連する新しい知識を得ることを目的とする学術研究活動として実施されます。

3．研究実施予定期間

この研究は、倫理委員会承認後から 2020 年 3 月まで行われます。

4．対象者

2018 年 11 月 9 日から 2018 年 11 月 11 日にメディカルサポートとして宮崎大学整形外科が参加する大会に競技者として参加した方が対象となります。

5．方法

ドローンで撮影した映像の情報から、要救助者の動きや周囲に待機しているライフセーバー、水上バイク、ボートなどの位置関係や水面の状況などの情報を利用させて頂き、これらの情報をもとに水難事故発生時特有の動きを解析し、ドローンによる競技会場監視の有用性を検討します。

6．費用負担

この研究を行うにあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

7．利益および不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

8．個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に同定できないように、数字や記号などに置き換え、「匿名化された試料・情報（どの研究対象者の試料・情報であるかが直ちに判別できないよう、加工又は管理されたものに限る）」として使用いたします。

9．研究に関する情報開示について

ご希望があれば、研究計画および研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。ただし、研究の独創性確保に支障のない範

囲内で情報開示を行います。

10．研究資金および利益相反について
　この研究に関する経費は、実施責任者が所属する診療科の研究費で実施します。なお、本研究の実施責任者と分担研究者は本研究に関わる企業および団体等からの経済的な利益の提供は受けていないため、利益相反[注1)]はありません。
　注１）臨床研究における利益相反とは、研究者が当該臨床研究に関わる企業および団体等から経済的な利益（謝金、研究費、株式等）の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。

11．研究成果の公表
　この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

12．参加拒否したい場合の連絡先
　この研究に参加したくない（自分のデータを使ってほしくない）方は下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。個人が特定できるデータ内から辞退希望の方が記録されている画像は使用しないこととといたします。しかしながら、データ解析後、もしくは学会等で発表後は途中辞退することができない場合もあります。

13．疑問、質問あるいは苦情があった場合の連絡先
　この研究に関して疑問、質問あるいは苦情があった場合は下記連絡先へ連絡をお願い致します。

宮崎大学医学部附属病院整形外科
職名　氏名　山口　洋一朗
電話：0985-85-0986
FAX：0985-84-2931